

平成 29 年度第 1 回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 平成 29 年 7 月 7 日（金）午後 4 時から 5 時まで
2. 開催場所 文化センター2 階中ホール（かおりホール）
3. 出席者 委員 森委員、松上委員、多賀委員、野崎委員
事務局 長谷川副主幹、岸下主査補
4. 傍聴者 なし
5. 議題 ①平成 28 年度事業報告 (公 開)
②平成 29 年度事業計画 (公 開)
③その他 (公 開)
6. 配布資料 資料① 平成 28 年度事業まとめ
資料② 平成 29 年度 事業計画
資料③ 29 年 6 月の来館者集計
7. 会議での確認・承認事項
①平成 28 年度事業について確認
8. 議 事 以下のとおり

●●委員

会長及び副会長の選任

地元の先生が良いと思う。引き続き会長は森先生、副会長は松上先生でよいか。

全員

異議なし

28 年度事業報告

事務局より、前年度の事業報告を行う。(資料①)

事務局

昨年度から祝日開館が始まり、徐々に開館日が周知されていった。事業費は、2 年前にリニューアルした機械の賃借料で総額は増えているが、それ以外の予算は過去最低であった。しかし、来観者数、歳入共にリニューアルを行った前々年度並みであり、良い出来であった。

来観者の割合は、市内対市外が、1 対 1。またプラネタリウムは、学校教育と生涯学習施設としての役割を担っているがそちらの来館人数比も 1 対 1 で、目的を果たしていると思われる。

白井は新しい総合計画の中で、子育てスタート応援事業をあげているが、プラネタリウムでは、「にんさんぷラネタリウム」と「ひよこプラネタリウム」を対象事業としてあげている。「にんさんぷラネタリウム」は、昨年度から名称を「マタニティコンサート+α」から変更すると共に、対象を「妊婦」から「妊産婦」に広げ、好評であった。

出張観望会は、昨年度は、市内の学校等からの希望がなかったため行わな

	<p>かった。</p>
●●委員	<p>ひよこプラネタリウムや幼児投映の人数に比べ、プラチナアワーなどのシニア向け投映の人数が少ないが、全体的に白井は子どもの利用が多いのか。</p>
事務局	<p>学習や幼児団体投映等の人数をひくと、大人対子どもの比は、3対2ぐらいになり、大人のほうが多い。</p>
●●委員	<p>効率を考えると、シニア投映より、子ども投映をメインにしたほうが良いのではないか。</p>
事務局	<p>今後の高齢者の人口増加を考えると、シニアの来館者は増やしていきたい。</p>
●●委員	<p>来観者を増やしたいなら、内容や広報等、原因を考えなくてはいけない。</p>
事務局	<p>プラチナアワーは、来館人数は多くないが、約6割がリピーター。子どもがうるさいのが嫌なので、この投映を目指して来たという声もきくので大事に続けていきたい事業であるが、来観者増は課題である。</p> <p>リピーターを増やすという点では、大人は講座やプラチナアワーで確実に少しずつ増えているのが見えるが、子どものリピーターが見えない。</p>
●●委員	<p>「ひよこ」や「ロイ」は、小学校低学年以下の子が対象であるが、もう少し星に詳しくなってきた小学生や中学生のため番組はないのか。一般投映がそれに当たるのかもしれないが、一般投映の平均の来館者数を見ると20人弱と少ないのに驚く。</p> <p>白井は、一般投映以外の事業で来館者を増やしているのがわかった。</p>
事務局	<p>一般投映の来館者数を増やすのは、毎回課題としてあげられる。東大和は、白井より投映の種類は少ないが、一般投映に白井より多くの人を集めているように感じる。集客するために、何かしているか。</p>
●●委員	<p>東大和の来館者も、市内と市外の割合は同じくらい。そして、やはりなるべく一般投映を見てもらいたいと考えている。一般投映は、平日は1本だが、土日は内容の違う投映を3回行う。</p>
事務局	<p>白井も、土日の投映は、各回内容の違うものを行っている。平日の一般投映は、大震災の後から、節電と来館人数の、費用対効果を考えやめた。そのかわり平日はイベントや団体投映にあてている。</p>

●●委員	<p>当館はハイキングコースの途中にあるので、散策してきた人が、「こんなところに博物館、プラネタリウムがあった。じゃあ見ていこう。」という人がいるので、平日の一般投映はなくせない。</p>
事務局	<p>白井では、平日の問い合わせがあった場合、団体投映があれば一緒に入ってもらおう。</p>
●●委員	<p>予算の件だが、番組予算はいくらか。</p>
事務局	<p>番組制作費は、昨年度から0円となり、自主番組にかかる費用は、主にDVD等、消耗品費から支出している。講師謝礼金は約34万。内訳は星見会14万、ライブ15万。講師で2万、その他。</p>
●●委員	<p>職員の負担を減らす意味でも、講師謝礼金は必要。職員の同じ話より、講師を呼ぶことで幅が広がる。</p>
●●委員	<p>理想であるが、実際予算を増やすのは難しいのでは。</p>
●●委員	<p>●●委員も、白井の内情が見えてきたと思う。他に質問はないか。では次の議題へ進む。</p>
事務局	<p>29年度事業計画と7月までの報告 事務局より、前年度の事業報告を行う。(資料②)</p> <p>今年度は「地球・月・太陽」のテーマで講座や番組を組み立てた。新しい企画として、ドームで昭和歌謡を歌う「歌声プラネ」を5月に行った。以前ライブを行った、ゆうはるさん2人が、キーボードとクラリネットで伴奏してくださり、大変好評であった。できれば季節ごとに企画していきたい。</p> <p>後は、前年度と同等の事業を行う予定である。</p> <p>夏の「From Earth to the Universe」は新規オート番組だが、ヨーロッパ南天天文台が無料配布し、ボランティアがセリフを翻訳し、東大和で編集したものを流している。</p> <p>スターキッズクラブは、25名の募集に30人来たので、全員受け入れることにした。</p>
●●委員	<p>チラシはどのように配布しているのか。</p>
事務局	<p>市内と近隣の小・中学校と幼稚園・保育園に、市役所経由またはメール便を使って送付している。市内は、ほぼすべての小・中学校、幼稚園・保育園が来館する。市外は、例年小学校約40校、幼稚園・保育園約25校程が来</p>

	館する。
●●委員	学習投映案内以外のチラシは配っているか。
事務局	昨年は学校経由で、夏休み前に配ったが、今年はまだない。
●●委員	チラシは配ると効果はある。東大和では、新聞折り込み用2万5千部以外にも、学校経由で、表にプラネタリウム情報、裏に部分月食など注目の天文現象を載せたものを作成して配布している。今日も、先ほど自分で配ってきた。
事務局	配布対象は？
●●委員	小学校1年から中学生まで全員約7,200人。以前、部分月食など見てもらいたくて、先生に配ってくださいと何部か渡したことがあったが、全く配ってくれない学校があった。全員分渡せば配ってくれる。 東大和の運営協議会でもこの話がでて、毎回はできなくても、年何回かは必ず配ることにした。配ると効果はある。
事務局	白井も中学校と小学校には、毎月「プラネタリウムだより」と、「星を見よう」を、先生と掲示物分配布している。手配りできる市内幼稚園には先日夏休みの案内と子どもライブのチラシを園児数配った。
●●委員	家に持って帰るチラシがあるのは良い。中学生などはなかなか来ないが、とにかく配らなければ目にする機会が永遠にないのでアピールは続ける。園児団体には投映に来た時に塗り絵のついたチラシを渡す。後日、大人と共にまたやってきてくれる。
事務局	白井でも、来館した団体に、リーフレットやチラシを配っているが、後でその子供が親と共に来館してくれる。今年は特に、そのような来館者多いように感じる。 ●●委員、用事のため退席。
●●委員	今年の「ちびっこ星の絵展」の参加園は何園か。
事務局	今年は6園である。昨年は4園で少なかった。幼稚園も忙しくなっているのか。

●●委員	<p>そうかもしれない。宝幼稚園は作るのが行事になっており、作った作品も写真に撮って、保護者に渡している。そこから、プラネタリウムにも足を延ばしてもらえば良いと考えている。</p>
●●委員	<p>色々やっているんで、人数が集まればよいと思う。シニア向けの案内は、公民館とかシニアの集まっているところにいって配るのが良いのではないか。音楽会等に行っても、必ず音楽のチラシが配られるが、白井の音楽のプログラムも会館等の音楽会で配らせてもらったら効率がよいのではないか。</p> <p>また、シニアの音楽会は、データーをみても、午後より、午前の方が良い。ジャズのコンサートは絶対人気があると思うが、土曜の午後の来観者数が少ないのは、時間が良くなかったというのものもある。しかし、情報を届いていないという要因は大きく、もったいない。</p>
事務局	<p>シニア向けのチラシは、毎回単発で作っているが、ひよこプラネタリウムやにんさんぷらネタリウムと同じように年間予定のものを作ることにする。ポイントごとへのチラシ配布も機会を見つけ、行っていきたい。</p>
●●委員	<p>白井は本当にイベントが多い。東大和は、担当者が1人なので、とてもこれだけのイベントは難しい。</p>
事務局	<p>東大和はの来観者数はどれくらいか。</p>
●●委員	<p>学習が4千～5千人で、一般を含めて1万7千人ぐらい。番組投映のための予算はある程度ついている。いろいろな企画も行っている。</p> <p>夏休みにキャラクター番組を投映すると、集客が上がるが、そういう番組を毎回夏に投映していると、今まで足を運んでくれたお客様が来なくなってしまう。</p> <p>今年の夏は、星座解説も含め、フルオートの番組ばかりでなく、生解説の番組を多くやることにした。来観者を増やすには話題性が重要であるのを感じる。</p>
事務局	<p>時折、生解説初めてというお客様が白井にもいらっしゃるが、新鮮に感じるらしい。</p>
●●委員	<p>星空で朗読というのはとても良い。松戸には朗読の会がいくつかあるが、そこにチラシを配ると、朗読会の勉強にもなるし、たくさん人がくるのではないか。</p>
事務局	<p>昨年の朗読会は12月初旬に行ったが、広報活動に失敗した。今年の朗読</p>

	<p>会は9月の初めにあるので、昨年の轍を踏まず、広報に力を入れる。</p>
●●委員	<p>「アジアの星」の朗読会の来館者が少ないのはなぜか。</p>
事務局	<p>「アジアの星」というテーマがよくなかったかもそれない。ギリシャ神話の方が人気はある。</p>
●●委員	<p>アイヌの星の番組を行ったことがあるが、男女問わず多くの人 came。</p>
●●委員	<p>ターゲットを絞ってチラシを配るのは重要である。</p>
事務局	<p>広報には、毎回苦労する。コミュニティ紙に載せてもらえると効果てきめんだが、希望通りには載せられない。公民館、カルチャースクール等へのチラシ配布に努力する。</p>
●●委員	<p>他に意見はないか。 ではこれで平成29年度第1回プラネタリウム運営協議会を終了とする。</p>
<p>以上</p>	